（別紙様式4）

令和5年7月31日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
東京ウェディング＆ブライダル専門学校	平成23年9月7日	髙橋　斉	〒　113-0033 （住所）　東京都文京区本郷5-24-3 （電話）　03-5842-4931
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人三幸学園	昭和60年3月8日	昼間　一彦	〒　113-0033 （住所）　東京都文京区本郷三丁目23番16号 （電話）　03-3814-6151

分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
商業実務	商業実務専門課程	ブライダルヘアメイク＆ドレス科	令和 1(2019)年度	－	平成27(2015)年度

学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、ウェディング・ブライダル業界に従事しようとする者に必要な知識、技能を教授することによって、明日のブライダル業界を担う人材を育成することを目的とする。
学科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	【資格】サービス接遇検定3級、パーソナルカラーコーディネート検定ベーシック、ブライダルコーディネート技能検定3級、トータルメイクアップ検定ベーシック、パソコン技能検定3級、ドレススタイリスト検定、ブライダルプランナー検定1・2級、レストランサービス技能検定3級、2・3級きもの講師、ブライダルフラワーアレンジメント、インバウンド接客英語検定ブロンズ、ウェディングフォトスタイリスト検定、ドローン操縦士アドバンス認定試験 【中退率】7.1%

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2　年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入 単位時間 62 単位	単位時間 27 単位	単位時間 46 単位	単位時間 6 単位	単位時間 0 単位	単位時間 10 単位

生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数（生徒実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)
240 人	187 人	0 人	0 %

就職等の状況

■卒業者数 (C)	: 95	人
■就職希望者数 (D)	: 64	人
■就職者数 (E)	: 64	人
■地元就職者数 (F)	36	人
■就職率 (E/D)	100	%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)	56	%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)	67	%
■進学者数	27	人

■その他

（令和　4　年度卒業者に関する令和５年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和4年度卒業生）

ホテル、結婚式場、レストラン、ドレスショップ、フォトスタジオ等

第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価：　無 ※有の場合、例えば以下について任意記載
当該学科のホームページURL	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-bridal/course/coordinator/

企業等と連携した実習等の実施状況（Ａ、Ｂいずれかに記入）

（Ａ：単位時間による算定）

総授業時数	単位時間
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位時間
うち企業等と連携した演習の授業時数	単位時間
うち必修授業時数	単位時間
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位時間
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位時間
（うち企業等と連携したインターンシップの授業時数）	単位時間

（Ｂ：単位数による算定）

総授業時数	89 単位
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	6 単位
うち企業等と連携した演習の授業時数	1 単位
うち必修授業時数	12 単位
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	1 単位
（うち企業等と連携したインターンシップの授業時数）	6 単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	17 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	11 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	0 人
計		28 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	0 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。
（1）カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
（2）各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
（3）教科書・教材の選定に関する事項
（4）その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等
またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。
具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、ブライダル分野専門委員会（別紙組織図：各専門委員会）にて提案される。
提案に基づき、ブライダル分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
保坂　祐太	株式会社エスクリ　管理本部　人事部	令和4年4月1日～令和6年3月31日（2年）	③
横田　幸一	株式会社リビエラ東京　総務部　次長	令和4年4月1日～令和6年3月31日（2年）	③
佐々木　貴夫	公益社団法人日本ブライダル文化振興協会　事務局長	令和4年4月1日～令和6年3月31日（2年）	①
末安　由香	東京ウェディング＆ブライダル専門学校　副校長	－	－
笹沼　未奈	東京ウェディング＆ブライダル専門学校　主任	－	－
飯野　絢	東京ウェディング＆ブライダル専門学校　主任	－	－
鈴木　斐子	東京ウェディング＆ブライダル専門学校　就職主担当	－	－

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
（年間の開催数及び開催時期）
年2回　（6月、11月）
（開催日時（実績））
第1回　令和4年6月13日　10：30～12：00
第2回　令和4年11月9日　14：00～15：30

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。
①ブライダル業界の人材定着率が高くない現実がある。入社前と入社後のギャップが埋まる工夫を学校でも取り入れてほしい。
⇒対応：就職指導を行う授業内にて自己分析や企業研究の時間を多く設けた。また、就活サークル（放課後の任意参加）を通じて職種理解を深めるため、業界経験者の教員から具体的な仕事内容ややりがいを伝えた。
②近年は新郎がメイクを希望することも増えているため、新郎メイクの知識も盛り込んではどうか。
⇒対応：令和5年度後期のヘアメイクの授業にて行う予定。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
実践的な指導を施すにあたり、ブライダル業界における実績や、実践的かつ専門的な知識・技術およびその指導能力を有する指導者が得られる企業等を選定し、実践計画の作成から連携を図る。ブライダル業界の求める人材要件に沿った計画、および評価基準・方法を設定し、企業等からのフィードバックに基づいた成績評価を行うことを基本方針とする。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容
※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
ブライダル業界を担う人材として、業界の課題を見つけ、改善するための企画力と再現力を身につけることを狙いとし、演習科目を設定。企業様よりブライダル業界の現在の課題や今後の見通しについて講話を頂き、それを踏まえてプレゼンテーションを実施する。そのプレゼンテーションを企業の方々に評価・フィードバックして頂くことにより、より実践的な感覚を習得する。評価基準としてして、上記企業様によるプレゼンテーションの評価を中心にレポート等を総合的に勘案しながら成績評価を実施。定期的に企業様と学校にて、授業シラバスの進捗確認や生徒の様子を共有し、改善など協議をしている。

（3）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
ブライダルプロジェクトＩＢ	ブライダル業界を担う人材として業界の課題を見つけ、改善するための企画力と再現力を身につけるべく、課題・改善策を考え、プレゼンテーションできる力を学ぶ	株式会社 長沼

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記
実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日のブライダル業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。
・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修
・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　現場からブライダル系専門学校に求められているもの　　連携企業等：（一社）日本ウェディングスタイリスト協会　遠藤 智緒里 様
期間：　令和4年8月19日(金)　　対象：全教員（50名）
内容　ブライダル系専門学校と業界の変遷、これからの専門学校で求められるものについて

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　授業の中に感動を生み出す～生徒が集中し、能動的に参加する授業運営とは～　　連携企業等：多賀 一郎　様
期間：　令和4年8月23日(火)　　対象：全教員（50名）
内容　生徒が集中し、能動的に参加する授業運営のポイントについて

（3）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：　ブライダル業界の採用市場と今後の展望について　　連携企業等：株式会社ノバレーゼ他7社
期間：　令和5年8月22日（火）　　対象：一部教員（19名）
内容　各企業の採用実態、研修制度、専門学校に求めること

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：　習慣のつくり方　　連携企業等：有限会社シンプルタスク　井上久梨子　様
期間：　令和5年8月24日（木）　　対象：学科教員（50名）
内容　生徒の生活習慣、学習習慣の形成のために必要なステップとアプローチを学ぶ

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。
学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	（1）教育理念・目標
（2）学校運営	（2）学校運営
（3）教育活動	（3）教育活動
（4）学修成果	（4）学修成果
（5）学生支援	（5）学生支援
（6）教育環境	（6）教育環境
（7）学生の受入れ募集	（7）学生の受入れ募集
（8）財務	（8）財務
（9）法令等の遵守	（9）法令等の遵守
（10）社会貢献・地域貢献	（10）社会貢献・地域貢献
（11）国際交流	（11）国際交流

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況

委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。
入社後の離職について
卒業生のネットワークサイトだけに頼るのではなく、卒業後も現場経験のある教員と気軽に連絡が取れると相談しやすいのではないか。
⇒対応：10周年同窓会でLINEの参加者に対して同窓会のLINE登録を促し、卒業生からの相談受付を行いやすい環境を整えた。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名　前	所　　属	任期	種別
波岡　惠美理	株式会社BP	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日（1年）	企業委員
保科　怜捺	株式会社ベスト-アニバーサリー	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日（1年）	企業委員
横矢　翔吾	飛鳥未来高等学校　池袋キャンパス　教頭	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日（1年）	教育に関し 知見を有する者
中島　響	株式会社東天紅　上野本店　プランナー	令和5年4月1日 ～令和6年3月31日（1年）	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

（ホームページ）・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（　　））
URL：　https://www.sanko.ac.jp/tokyo-bridal/information/kankeisya.pdf
公表時期：　令和5年8月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。
1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。
3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
（2）各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要件、目指
（3）教職員	教員数、組織、専門性
（4）キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
（5）様々な教育活動・教育環境	学校行事
（6）学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
（7）学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
（8）学校の財務	学校の財務
（9）学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
（10）国際連携の状況	
（11）その他	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法
（ホームページ） ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他（ ））
URL： https://www.sanko.ac.jp/tokyo-bridal/information/
公表時期： 令和5年8月31日

授業科目等の概要

	（職業実務専門課程　ブライダルヘアメイク＆ドレス科）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ブライダル知識ＩA	国家検定であるブライダルコーディネート検定取得を目標とし ブライダル業界全体の知識を身につける	1年・前期	15	1	○			○		○		
2	○			ブライダル知識ＩB	国家検定であるブライダルコーディネート検定取得を目標とし ブライダル業界全体の知識を身につける	1年・後期	15	1	○			○		○		
3	○			未来デザインプログラムA	社会人としての考え方や行動習慣を学ぶ	1年・前期	15	1	○			○		○		
4	○			未来デザインプログラムB	社会人としての考え方や行動習慣を学ぶ	1年・後期	15	1	○			○		○		
5			○	ブライダルビジネスマナー	検定取得を目指す。社会人として必要な敬語・履歴書・ビジネス文書などを学ぶ	1年・前期	30	2	○			○		○		
6			○	パーソナルカラー	検定取得を目指す。カラーの知識を学び、コーディネート力・提案力を身につける	1年・後期	30	2	○			○			○	
7			○	キャリアデザインＩA	就職活動の流れを理解し、エントリー方法・履歴書作成や面接方法を身につける	1年・前期	30	2	○			○		○		
8			○	キャリアデザインＩB	就職活動の流れを理解し、エントリー方法・履歴書作成や面接方法を身につける	1年・後期	30	2	○			○		○		
9			○	マーケティング	必須行事であるブライダルコンペティションと連動し、ブライダル業界のニーズや動向動向について知る	1年・後期	15	1	○			○		○		
10			○	ドレスデザインA	衣装の知識を学び、全米ブライダルコンサルタント協会認定ドレススタイリスト検定取得を目指す	1年・前期	30	2	○			○		○		
11			○	ドレスデザインB	衣装の知識を学び、全米ブライダルコンサルタント協会認定ドレススタイリスト検定取得を目指す	1年・後期	30	2	○			○		○		

12			○	インターンシップ対策	ブライダルの現場に出るための準備や社会人としての考え方や心構えを養う	1年・前期	15	1	○			○		○		
13			○	アテンド実践A	結婚式当日のアテンダー（介添）の知識、立ち振る舞い、心得を修得する	1年・前期	30	1		○		○		○		
14			○	フラワーアレンジ	検定取得を目指す。装花の種類を理解し、様々なスタイルの作成ができる	1年・前期	45	2		○		○			○	
15	○			ブライダルプロジェクトⅠA	必須行事である模擬挙式を創り上げることを通して、挙式の流れや役割、想像力を身につける	1年・前期	30	1		○		○		○		
16	○			ブライダルプロジェクトⅠB	必須行事であるブライダルコンペティションを創り上げることを通して、企画力や発想力、プレゼンテーション能力を身につける	1年・後期	30	1		○		○		○		○
17	○			ブライダル知識ⅡA	国家検定であるブライダルコーディネート検定取得を目標としブライダル業界全体の知識を身につける	2年・前期	30	2	○			○		○		
18	○			ブライダル知識ⅡB	国家検定であるブライダルコーディネート検定取得を目標とし ブライダル業界全体の知識を身につける	2年・後期	30	2	○			○		○		
19			○	キャリアデザインⅡA	就職活動に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける	2年・前期	15	1	○			○		○		
20			○	キャリアデザインⅡB	就職活動に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける	2年・後期	15	1	○			○		○		
21			○	ブライダルジュエリー	ブライダルに関わるジュエリーの基礎知識を学ぶ	2年・前期	15	1	○			○			○	
22	○			ブライダルプロジェクトⅡA	日頃の授業のアウトプットを行いながら、行事の準備を進めることで、主体性・協調性・実践力を身につける	2年・前期	30	1		○		○		○		
23	○			ブライダルプロジェクトⅡB	日頃の授業のアウトプットを行いながら、行事の準備を進めることで、主体性・協調性・実践力を身につける	2年・後期	30	1		○		○		○		
24			○	花嫁着付けⅠA	着付けに関する知識・技術を身につけると同時に、検定取得を目指していく	1年・前期	45	2		○		○			○	
25			○	花嫁着付けⅠB	着付けに関する知識・技術を身につけると同時に、検定取得を目指していく	1年・後期	45	2		○		○			○	

26			○	ベーシックメイクA	メイクの基礎テクニックを学ぶ（入門）	1年・前期	45	2		○		○			○	
27			○	ベーシックメイクB	メイクの基礎テクニックを学ぶ（検定取得に向けて学ぶ）	1年・後期	45	2		○		○			○	
28			○	ブライダルネイルⅠA	ネイルの基礎テクニックを学ぶ（JNECネイリスト技能検定３級取得に向けて学ぶ）	1年・前期	45	2		○		○		○		
29			○	ブライダルネイルⅠB	より高いネイルテクニックを学ぶ（JNAジェルネイル技能検定初級に向けて学ぶ）	1年・後期	45	2		○		○		○		
30			○	ブライダルヘアアレンジⅠ	ヘアアレンジの基礎知識テクニックを学ぶ	1年・前期	30	1		○		○			○	
31			○	花嫁着付けⅡA	着付けに関する知識・技術を身につけると同時に、検定取得を目指していく	2年・前期	45	2		○		○			○	
32			○	花嫁着付けⅡB	着付けに関する知識・技術を身につけると同時に、検定取得を目指していく	2年・後期	45	2		○		○			○	
33			○	ブライダルネイルⅡA	ネイルの基礎テクニックを学ぶ（JNECネイリスト技能検定３級取得に向けて学ぶ）	2年・前期	45	2		○		○			○	
34			○	ブライダルネイルⅡB	より高いネイルテクニックを学ぶ（JNAジェルネイル技能検定初級に向けて学ぶ）	2年・後期	30	1		○		○			○	
35			○	ブライダルエステA	エステの基礎テクニックを学ぶ	2年・前期	30	1			○	○			○	
36			○	ブライダルエステB	エステの基礎テクニックを学ぶ	2年・後期	30	1			○	○			○	
37			○	パソコンスキル	タイピング・Word・Excelの基礎を学ぶ	2年・前期	30	1		○		○		○		
38			○	ビジネスメール	ビジネスメールの知識を学び、ブライダル業界でお客様・取引先とのやり取りが出来るようになる	2年・後期	30	1		○		○		○		
39			○	ブライダルメイクⅠ	ブライダルに関するメイクの基礎を学ぶ	1年・後期	45	2		○		○			○	

40			○	ブライダルヘアアレンジⅡ	ヘアアレンジの基礎知識テクニックを学び技術の幅を広げる	1年・後期	45	2		○		○			○	
41			○	ブライダルヘアアレンジⅢ	ヘアアレンジの基礎知識テクニックを活かし 技術の幅を広げる	2年・前期	45	2		○		○			○	
42			○	ブライダルヘアアレンジⅣ	ヘアアレンジの基礎知識テクニック活かし 技術の幅を広げアレンジ力を高める	2年・後期	45	2		○		○			○	
43			○	ブライダルメイク＆フォトA	ブライダルのテーマ８パターンに合わせて メイクの提案ができるようになる	2年・前期	45	2		○		○			○	
44			○	ブライダルメイク＆フォトB	学んだテクニックをアレンジし、ブライダルのフォト作品つくり	2年・後期	45	2		○		○			○	
45			○	洋装・和装メイクA	ブライダルの洋装と和装に合わせた ヘアメイクのテクニックを学ぶ	2年・前期	30	1		○		○			○	
46			○	洋装・和装メイクB	ブライダルの洋装と和装に合わせたヘアメイクの テクニックを学ぶ	2年・後期	30	1		○		○			○	
47			○	ドレススタイリングA	ドレスデザインA、Bで学んだ知識を活かし、 ドレスの取り扱いやコーディネートのスキルを身につける	2年・前期	30	1			○	○			○	
48			○	ドレススタイリングB	ドレスデザインA、Bで学んだ知識を活かし、ドレスの取り扱いやコーディネートのスキルを身につける	2年・後期	30	1			○	○			○	
49			○	ブライダルヘアメイクⅠ	ヘアアレンジの基礎テクニックを活かし、 アレンジ力技術の幅を広げる	1年・後期	30	1		○		○			○	
50			○	ドレスフィッティング	ドレスデザインA,Bで学んだフィッティング技術を実践し、即戦力を身につける	1年・後期	30	1			○	○		○		
51			○	ドレスソーイング＆メンテナンスⅠ	ドレススタイリストの仕事の一環である、 補正・染み抜き・裾上げ・アイロン掛け等のメンテナンス業務を学ぶ	1年・後期	30	1			○	○			○	
52			○	ドレスカウンセリングA	ドレススタイリストに必要なカウンセリング力、 トーク力を身につける	2年・前期	15	1	○			○			○	
53			○	ドレスカウンセリングB	ドレススタイリストに必要なカウンセリング力、 トーク力を身につける	2年・後期	15	1	○			○			○	

54			○	ドレスコーディネートA	ドレスフィッティングで身につけた技術を活かし、ロールプレイングを通して接客スキルを身につける	2年・前期	30	1			○	○			○	
55			○	ドレスコーディネートB	ドレスフィッティングで身につけた技術を活かし、ロールプレイングを通して接客スキルを身につける	2年・後期	30	1			○	○			○	
56			○	ドレスソーイング＆メンテナンスⅡ	ドレスソーイング＆メンテナンスⅠの知識・技術を活かし、メンテナンス業務が出来る。また、作品作りを行う	2年・前期	30	1			○	○			○	
57			○	ドレスソーイング＆メンテナンスⅢ	ドレスソーイング＆メンテナンスⅠ、Ⅱの知識・技術を活かし、メンテナンス業務が出来る。また、作品作りを行う	2年・後期	30	1			○	○			○	
58			○	ブライダルヘアメイクⅡ	ヘアアレンジの基礎知識テクニックを学び技術の幅を広げる	2年・前期	30	1		○		○			○	
59			○	ブライダルヘアメイクⅢ	ヘアアレンジの基礎知識テクニック活かし技術の幅を広げる	2年・後期	30	1		○		○			○	
60			○	インターンシップⅠ	ブライダルの現場を通して、現場力・即戦力・社会人としてのマナーを身につける	1年・後期	60	2			○		○			
61			○	インターンシップⅡ	ブライダルの現場を通して、現場力・即戦力・社会人としてのマナーを身につける	2年・前期	60	2			○		○			
62			○	インターンシップⅢ	ブライダルの現場を通して、現場力・即戦力・社会人としてのマナーを身につける	2年・後期	60	2			○		○			
合計					62 科目			89 単位（単位時間）								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件： 本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業要件単位数は、31単位に当該学科の修業年限相当数を乗じた単位数以上とする。	1学年の学期区分	2 期
履修方法： 原則として教育課程に定められている順序で履修する。	1学期の授業期間	15 週

（留意事項）

1　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。